



しだみさきゅうのまつばやし

28

志多見砂丘の松林

- 所在地／加須市志多見 2333 番地
- 規模／幅 0.3～0.7km、長さ 1km、面積 50ha、樹齢 200 年
- 指定／埼玉県自然環境保全地域
- 問合せ／加須市生涯学習課文化振興係 電話 0480-62-1111 (代表)

埼玉県



COLUMN

不動岡誠和高校前の陸橋から南に入り、国道と平行して松林の中を歩き、国道に出る道がおすすめの散策路です。近くには、子ども連れにぴったりの「むさしの村」(徒歩 5 分) や、都市型天然温泉「湯ったり苑」(徒歩 10 分) などがあります。

立地環境

会の川(旧利根川)の右岸に発達した内陸性の河畔砂丘上に立地しています。

松原の 今昔物語

旧利根川流域に残る 数少ない内陸性砂丘に見られる松林

志多見の松原がある砂丘は、会の川の右岸に位置しています。赤城おろしによって運ばれた砂が堆積してできたもので、内陸部にこのような砂丘ができるのは、珍しいことです。以前は 5m にもおよぶものがありました。良質な砂が採れるために削り取られ、多くはもとの地形をとどめなくなっています。

江戸時代、この砂丘にアカマツを植林したのが、現在の松原のはじまりです。松林の中央を通る道路の南側は純粋な松林で、北側は広葉樹との混交林となっていますが、過去には、いずれも松の純林であったと考えられています。

ACCESS

●電車やバスの場合

東武伊勢崎線加須駅下車、加須市内循環バス(西循環)で 26 分「志多見十字路」下車

●車の場合

東北自動車道加須 I.C. より国道 125 号線、行田熊谷方面 20 分

